

【島のくらしの情報】

伊島(阿南市)

① 仕事(収入)の状況	<p>島における就業者の多くが漁業に従事しており、周辺海域にはアワビ・サザエ等の生息に適した磯が多数あることから、採貝業を営む就業者もおりますが、台風等の影響もあり漁業資源は減少傾向にあります。</p> <p>島では漁業以外で生計を立てることができる方を希望しています。</p>
② 住居の状況 (貸家、空き家など)	<p>島民の減少に伴い、空き家がでてきていますが、賃貸については、個別に相談となります。</p> <p>空き地もあり、相談により新築も可能ですが、資材の輸送の関係上、本土に比較して工事費用は高くなる傾向があります。</p> <p>現在、UIターン向けの公営の若者定住促進住宅を建築中です。</p>
③ 医療環境の状況	<ul style="list-style-type: none">・医療施設としては、阿南市設置の伊島診療所があり、阿南市医師会に委託して週1回の巡回診療が実施されていますが、専門的医療については本土での診察になります。・救急患者については、地元住民の相互協力のもと、漁船等で本土へ搬送しています。 <p>また、現在ヘリポート建設の計画が立ち上がっております。</p>
④ 福祉環境の状況	<p>住民で組織する伊島町会が介護サービス事業者認定を受け、平成12年度より「伊島町高齢者ふれあいセンター」を拠点にしています。</p>
⑤ 教育環境の状況	<ul style="list-style-type: none">・本地域には、小学校及び中学校が各1校設置されており、平成28年4月現在で小学生8名、中学生6名が在学しています。・文化施設として、小・中学校併用の屋内運動場があり、地域のスポーツ活動やコミュニティ活動の拠点として利用されています。・なお、高等学校は本地域にはなく、本土に寄宿して通学しています。
⑥ 上下水道・電気・ガスの状況	<ul style="list-style-type: none">・水道については、平成22年度より地下水を利用しています。(市営簡易水道)・し尿及び生活排水については、コミュニティ・プラントを整備しています。・電気については、海底ケーブルが敷設され、電力普及率は100%となっています。

<p>⑦ 本土との交通手段 (費用, 時間, 便数など)</p>	<p>【航路】連絡船 伊島漁港と本土答島港の間15.4キロメートルをみしま(平成15年建造。軽合金船19トン。定員48名。片道1,020円)が1日3往復, 片道30分で郵便船を兼ねて運航しています。 (本土答島港の最寄り駅はJR牟岐線・阿波橋駅。同駅から徒歩10分)</p>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用, 便数など)</p>	<p>【島内交通】徒歩 狭い平地に集落が密集しており, 道路はコンクリート舗装で幅員が狭いため, 交通手段は徒歩に限定されています。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 伊島漁業協同組合内に商店が1店舗あります。 日用品はこちらでほぼ揃います。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>特になし</p>
<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在, 下見に対する支援の状況</p>	<p>特になし</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>特になし</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>「イシマササユリ」を中心に, 交流活動を行っております。 小・中学校における学校間交流をはじめ, 本土の高等学校や企業と連携した活動を行っております。</p>